

3学年だより

No. 18

2021. 9. 22 (水)

白石市立白石中学校

第3学年 学年主任

9月21日(火)に「これからの社会を生きる君たちへ」をテーマに、人権擁護委員の皆さんを迎えて人権講話を実施しました。講師の方々のこれまでの経験談を聞くとともに、人権、LGBTなどについて学び、誰もが自分らしく生きられる社会をどのように作っていくのかを考えるよい機会となりました。



<p>今日の人権講話では「自分らしく生きる」「自分を好きになる」という話を聞いて、将来、大切なことだなと思いました。決めつけをしないことや理解することがこの先必要になってくるので、しっかりと考えていきたいです。これからはもっと他人を理解することを意識して、視野を広くして過ごしていきたいと思います。</p>	<p>これから大人になるとともに、仕事などで人との関わりがたくさん増えると思います。今、中学3年生のこの時期に人権講話があつて本当に良かったと思います。これからをどう生きていくか、生き抜いていくか、色々な人がいる中で固定概念にとらわれず、色々な人と折り合いをつけながら、これからの人生を生きていこうと思います。</p>
<p>今日の人権講話を通じて今まで社会などで習っていた「人権」についてを3人の講師の方々の仕事での経験や思いを交えてより深く知ることができました。「自分と違うから」「普通と違うから」という思いで、相手の人権を守らないという行動は絶対にしてはいけないのだと改めて分かりました。また、「LGBT」などの人々の人権も固定概念を壊し、普通の優しさで守らなければならないと強く感じました。よりよい社会のために、一人一人が人権について考えられるようになる手助けをしていきたいと思いました。</p>	<p>この世の中には色々な考え方をする人がたくさんいると改めて感じました。私はあまり性についての固定概念を気にしていませんが、まだ男だから女だからと言って何かを制限してしまう人は多いと思います。一人でもそう思う人が減って、誰でも好きなように生きることができるといいです。そのために、少しでも悩んでいる人がいたら優しく声をかけたり、相手が嫌がっていることをしていたら、改善できるように手伝ってあげたいと思います。</p>
<p>今日の人権講話の授業で学んだことは、偏見にとらわれないことが大事だということです。私は今まで偏見を恐れて生活していた部分があり、それに困っていた時期がありました。しかしある時、自分のありのままの気持ちが出たときに友達が増え、絆も深まりました。だから、これからの生活でもっとありのままの姿を出していきたいです。</p>	<p>「他者とどのように関わればみんなが幸せに生きていく社会を実現できるだろうか」ということに対して真剣に考えることができました。他にも講師の方々がどのような経緯で今の職業に就いているかなど、これから生きる人としてとても参考になりました。固定概念については確かに最近SNSなどでも固定概念を押し付けて、人の心を傷付ける人が多いなと思っていました。自分は固定概念にとらわれず、人と関わっていききたいです。</p>

編集後記 現在の社会状況は子ども・女性・高齢者・障がいのある人等に対するいじめや虐待、インターネットによる誹謗中傷・差別発言など、様々な人権侵害が後を絶ちません。また、「新型コロナウイルス感染症拡大」という大変不安な生活を強いられる現在、感染者や医療従事者等に対する偏見や差別も生じています。私たちは様々な人権課題に目を向け「人権の大切さに気づき、考え、行動する」というアクションを起こさなければなりません。そして、すべての人間が幸せに生活していける人権社会を創り上げていきたいものです。